

仕様比較表

仕様		形名	MELSEC-Aシリーズ				MELSEC-Qシリーズ						
			A68ADN				Q68ADV		Q68ADI				
アナログ入力	電圧		DC-10~0~10V (入力抵抗:1MΩ)				DC-10~10V (入力抵抗1MΩ)		-				
	電流		-20mA~0~20mA (入力抵抗250Ω)				-		DC0~20mA (入力抵抗250Ω)				
デジタル出力			16ビット符号付バイナリ 1/4000 設定時 -4096~4095 1/8000 設定時 -8192~8191 1/12000 設定時 -12287~12287				16ビット符号付バイナリ (通常分解能モード:-4096~4095、高分解能モード:-12288~12287、-16384~16383)						
入出力特性		アナログ入力	デジタル出力値 (ゲイン5V/20mA、オフセット0V/0mAの場合)			アナログ入力レンジ	通常分解能モード		高分解能モード				
			1/4000 設定時	1/8000 設定時	1/12000 設定時		電圧	デジタル出力値	最大分解能	デジタル出力値	最大分解能		
								0~10V	0~4000	0~16000	0.625mV		
			0~5V	1.25mV	0~12000		0.416mV						
			10V	4000	8000		12000	1~5V	-4000~4000	1.0mV	-16000~16000	0.333mV	
			5Vまたは20mA	2000	4000		6000	-10~10V		2.5mV		0.625mV	
			0Vまたは20mA	0	0		0	ユーザレンジ設定	0.375mV	-12000~12000	0.333mV		
			-5Vまたは-20mA	-2000	-4000		-6000	電流	0~20mA	0~4000	5μA	0~12000	1.66μA
-10V	-4000	-8000	-12000	4~20mA	4μA	1.33μA							
最大分解能			1/4000 設定時	1/8000 設定時	1/12000 設定時	ユーザレンジ設定	-4000~4000	1.37μA	-12000~12000	1.33μA			
		電圧入力	2.5mV	1.25mV	0.83mV								
		電流入力	10μA	5μA	3.33μA								
総合精度		±1.0%	アナログ入力レンジ			通常分解能モード			高分解能モード				
						周囲温度0~55℃		周囲温度 25±5℃	周囲温度0~55℃		周囲温度 25±5℃		
						温度ドリフト 補正あり	温度ドリフト 補正なし		温度ドリフト 補正あり	温度ドリフト 補正なし			
						電圧	0~10V	±0.3% (±12digit)	±0.4% (±16digit)	±0.1% (±4digit)	±0.3% (±48digit)	±0.4% (±64digit)	±0.1% (±16digit)
							-10~10V				±0.3% (±36digit)	±0.4% (±48digit)	±0.1% (±12digit)
						0~5V	ユーザレンジ設定						
						1~5V							
						電流	0~20mA						
4~20mA													
ユーザレンジ設定													
最大変換速度		20ms/チャンネル				80μs/チャンネル (温度ドリフト補正ありのとき、使用チャンネル数にかかわらず160μs加算)							
絶対最大 入力	電圧	±15V				±15V							
	電流	±30mA				±30mA							
アナログ入力点数		8チャンネル/ユニット				8チャンネル/ユニット							
絶縁方式	入力端子とシーケンサ電源間	フォトカプラ絶縁				フォトカプラ絶縁							
	チャンネル間	非絶縁				非絶縁							
占有点数		32点				16点							
接続端子台		38点端子台				18点端子台							
消費電流		0.4A				0.64A							

(注)1. 仕様比較表に掲載されていない詳細仕様、および一般仕様に関しては、ご使用になるユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。
 また、三菱電機(株)が発行している「L(名)08045:MELSEC-A/QnA(大型)シリーズからQシリーズへの置換えの手引き(インテリジェント機能ユニット編)」を参照されることをお勧めいたします。
 なお、MELSEC-AシリーズとMELSEC-Qシリーズで仕様が異なる部分は、置き換える上で仕様の制限を受けるところです。接続機器の仕様をご確認ください。